第１回東栄町医療のあり方検討委員会　議事録要旨

１．日　時　　平成２４年 ７ 月１１日（木）午後７時～午後９時

２．場　所　　東栄町役場　会議室

３．出席者　　計２９名

委員２６名

初澤宣亮、佐々木嘉郎、平林光子、伊藤芳孝、平賀英俊、丹羽治男
鈴木義治、佐々木加津之、峯田聖子、佐々木徹、佐々木経人、
三城富子、森イツ子、亀山志津子、杉山知実、片桐邑司、桂木勇、
熊谷廉太郎、西尾重光、鈴田勝美、一野瀬忠義、林敏和、藤原隆、
村上孝治、金田久世、石黒紋加

事務局２名

福祉課　　課長 原田英一 、保健衛生係長 長谷川伸

その他　１名

東栄町長 尾林克時

（敬称略）

４．欠席者　　０名

５．議　題

（１）正副会長の選任について
（２）今後の進め方について
（３）会議の公開及び議事録の公開について

互選により、会長に東栄病院　丹羽治男氏、副会長に区長会長　片桐邑司氏を選出

会長挨拶
地域の将来像の中での東栄町の医療のあり方について検討をお願いしたい。検討すべき課題を見据えて、まず議論に必要な基礎的情報を共有できるようにする。東栄町のこれからの公共施設のあり方として、分散させるのか集約するのか検討が必要である。人材確保、周辺医療機関との役割分担、地域包括ケア、経営形態、病院の機能、位置、温泉の活用などを話し合って決めていく。「死に場所」についても考える。基本的な情報として、周辺の医療機関の状況、さらに全国のモデル病院の視察ならびにその報告も行いたい。

委員
過去に類似の検討委員会が開催されているが、結論に至らず、議論も深まっていない。これまでの委員会の検証が必要である。東栄病院以外の医療機関についても議論の対象としていく必要あり。

委員
まず現状認識が必要。

事務局
まず研修を行い、その後、視察を行う。

委員
ここでの議論はどこまで実際の調整に反映されるのか？

町長
必ず反映させたい。

議事録について、ホームページに公開するが個人名は出さない方針となった。